

荒廃農地を活用した太陽光発電により鳥獣被害を軽減

山梨県韮崎市

【経緯】

- ・荒廃農地が増加して森林化
- ・近隣農地に深刻な鳥獣被害

【取組】

- ・荒廃農地を活用して太陽光発電所を設置
- ・農山漁村再エネ法のスキームで売電収入の一部を農業振興に還元することを位置づけ

【効果】

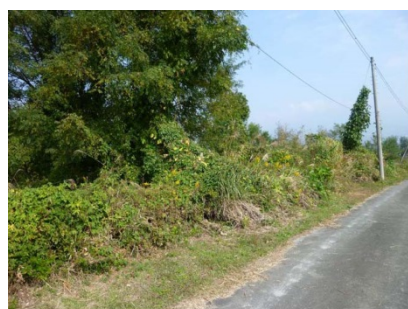
- ・売電収入により電気柵の設置や農道を整備
- ・荒廃農地が解消し、鳥獣被害が減少

事業スキーム

太陽光発電所 (株)システムズ

- ・荒廃農地が増加して近隣農地に深刻な鳥獣被害があり、地域住民から相談を受けた
- ・市に働きかけ、荒廃農地に太陽光パネルを設置

設置前



設置後



売電収入 (約8,000万円/年) ↑ ↓ 全量売電 (約233万kwh/年)

電力会社

売電収入の一部を地域に還元
(約150万円/年)

韮崎市



イノシシ被害の例



還元された売電収入を活用して電気柵を設置

イノシシ被害が減少

✓農山漁村再エネ法を活用して太陽光発電設備を設置し、荒廃農地の解消、農業基盤整備を図った取組

✓国の補助金等を活用せず、市の財源で取組に着手

✓地域住民は鳥獣被害の減少、発電事業者は売電による収入増、市は荒廃農地の解消等、それぞれに利点

今後の展開

- 地域還元された売電収入を活用し、更に農業基盤整備を促進
- 農業基盤整備により、担い手不足の解消を促す



【韮崎市の概要】

人口: 約29,900人 特産品: ぶどう、もも、米

【発電所の概要】

所在地: 山梨県韮崎市神山村鍋山(武田乃郷太陽光発電所)
発電出力: 1.6M(H29年8月から稼働)



お問合せ先 山梨県韮崎市役所 産業観光課 TEL 0551-22-1111 (内線221)